

2022年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	釧路スケートボード協会
事業名	釧路スケートボードコンテスト&講習会
課題テーマ	こどもスポーツの促進に資する事業
事業提案の背景	会長である、私は釧路で12年間スケートボードをしていて、その間大会や講習会といったスケーターのモチベーションが向上するようなイベントが、釧路にも東北海道にもなく周りで挫折する人を多く見てきました。 一方で、昨年の東京五輪の新競技であるスケートボードで日本勢が2つの金メダル獲得したことで、スケードボードの人气が急騰。「スケードボードをしたい」、「スケートボードが上手になりたい」、というニーズは全国的に高まり、スケボー関連商品の売上も増加しているそうです。釧路でも釧路市ストリートスポーツパークの利用者も増え、スケボー人口が増加傾向にあります。 そこで2012年に行われた札幌ムラサキスポーツ主催「SKATEGAME」における全道優勝の経験と、そこで培われた人脈を釧路市で生かしたいと考えました。
事業目的	スケードボードを教えてくれる人がいなくて困っている子どもや親御さん、またスケードボードに夢を抱いていて取り組む子どもたちへの技術的サポートを行う。また、スケードボードというスポーツの素晴らしさを発信し、少しでもそれに触れる機会を作り、その啓蒙普及に寄与する。
事業概要	初心者から上級者までの幅広い層を対象としたスケードボードの講習会を開催。
事業展開	7月から8月までにスケートボード講習会を三回開催。
成果目標の達成状況	講習会 各30人、延べ90名の参加。
波及効果の達成状況	何も好きな事や夢がない子どもたちにスケードボードの魅力を伝え、一人でも多くの子供の夢と希望を与え、スケードボード人口を増やすことができた。今後は、釧路からオリンピックやプロを輩出することを目標として活動を行う。

実施体制	・講習会 講師は会長含む協会所属のローカルスケーターが担当。 ・事務管理 全体も運営・事務管理は釧路スケードボード協会が担います。 ※以下のコロナ対策を行う ・消毒、マスク着用、名簿（参加者・随行者・関係者の氏名・住所・連絡先）の作成 ・スタッフは抗原検査を毎回実施。
連携した市担当課	無 ・ <u>有</u> （生涯学習部スポーツ課）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	講習会・コンテストの周知活動、参加者へのアンケート調査、講習会・会場（釧路ストリートスケートパーク）借用に関する相談窓口

2 支出決算書と支出内訳

（収入）

費目	決算額（円）	内訳
輝くまちづくり交付金	112,680 円	
講習会参加料	10,000 円	500 × 20 = 10,000
自己資金	21,000 円	
合 計	143,680 円	

（支出）

費目	決算額（円）	内訳
対象経費		
消耗品費	65,000 円	抗原検査キット 1,300 × 50 = 65,000
使用料・賃貸料	25,000 円	会場設営委託費
印刷製本費	15,000 円	ポスター、チラシ印刷
役務費	7,680 円	保険、広告費
小 計	112,680 円	
対象外経費		
備品購入費	15,000 円	医薬品購入費、スケボー購入費
飲食代	10,000 円	飲食代（熱中症対策）
交通費	6,000 円	資材運搬、車両費
小 計	31,000 円	
合 計	143,680 円	